

となりのケアラーズ

～ヤングケアラー～

発表日:2025年11月12日



障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障害や病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

ヤングケアラーとは

家族の介護その他の日常生活上の世話を**過度に**行っていると認められるこども・若者

テーマ、チーム名の紹介

【テーマ】

高校生から見たヤングケアラーとは

【チーム名】

となりのケアラーズ

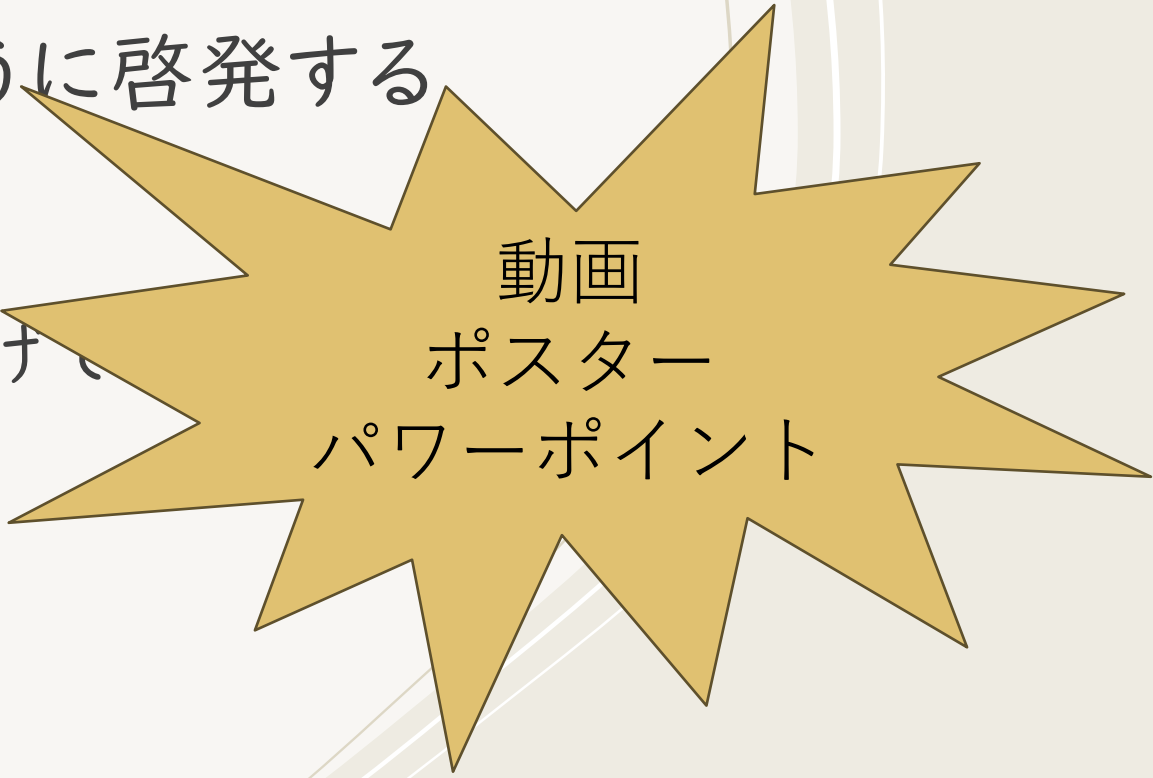


課題とゴール設定

地域の人にヤングケアラーのことを知ってもらう
地域の方が行動できるように啓発する



ヤングケアラーと支援をつなげる

A large, multi-pointed yellow starburst with a black outline, containing text about promotional materials.

動画
ポスター
パワーポイント



これから

2025年12月14日(日) 北方公民館

【高校生からみたヤングケアラー】

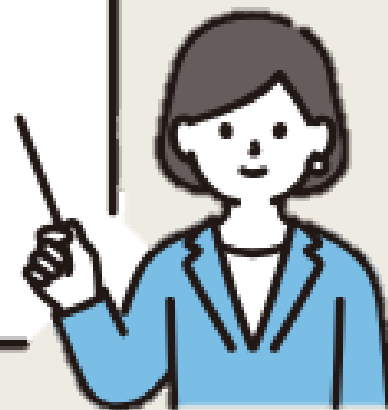
これまでの活動

- ヤングケアラーの課題について考える
- ヤングケアラー支援者研修会への参加
- 元ヤングケアラーさんとzoom
- ヤングケアラーについての講演を聴く



3つの変化

変化



個々の変化

- 当たり前前の学校生活が当たり前ではないと再認識した。
- 同じ世代の人間として責任感を感じた。
- ヤングケアラーは思っていたものと事実が違うことに気づいた。
- 実生活とヤングケアラーが繋がった。



チーム全体の変化

- それぞれが積極的に調べ、自分の意見を持つことができた。
そして、その意見を共有することができた。



ヤングケアラーについて深く考えているからこそ、
自分の意見が生まれる

人権フェスタを経ての地域の変化（未来予想）

- 地域全体が一丸となってこどもたちを見守ってくれる
- ヤングケアラーについて知ってもらい、大人・こどもの行動が変化する
- 寄り添う姿勢が生まれる
- 地域全体が一丸となってこどもたちを見守ってくれる。
- 支援が豊かになる



ヤングケアラーが減るのでは？



市への提案

- ・ 支援者研修会を定期的に行ってほしい！

ヤングケアラーへの関心をより一層高めてもらうために。
また、正しい知識をもってもらうために。



ご協力のお礼

市役所の皆さん。元ヤングケアラーさん。
ご協力ありがとうございました。



ぜひ!!
講演会におこしく下さい!!